

1日(木)	外国語講座(実践英語4)
2日(金)	
3日(土)	生活者としての外国人のための日本語教室
4日(日)	異文化コミュニケーション体験フェア(於:エスパルスドリームプラザ)
5日(月)	外国語講座(実践英語3、清水英会話『基礎英語を総復習しよう!』)
6日(火)	
7日(水)	外国語講座(実践英語1)
8日(木)	外国語講座(実践英語4)
9日(金)	
10日(土)	生活者としての外国人のための日本語教室
11日(日)	静岡・ストックトン友好親善英語スピーチコンテスト
12日(月)	外国語講座(実践英語3、清水英会話『基礎英語を総復習しよう!』)
13日(火)	
14日(水)	
15日(木)	外国語講座(実践英語4)
16日(金)	
17日(土)	閉館
18日(日)	閉館
19日(月)	外国語講座(実践英語3、清水英会話『基礎英語を総復習しよう!』)
20日(火)	
21日(祝)	閉館
22日(木)	
23日(金)	
24日(土)	本部事務所移転
25日(日)	本部事務所移転
26日(月)	静岡市役所17階にて本部事務所業務開始
27日(火)	
28日(水)	
29日(木)	
30日(金)	
31日(土)	閉館

イベント内容は、諸事情により予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

外国語相談員勤務日

曜日	地区	時間	言語
月	清水	8:30~17:15	ポルトガル語
火	静岡	13:00~17:00	フィリピン語
	清水	8:30~17:15	ポルトガル語
水	清水	8:30~11:30	フィリピン語
木	静岡	10:00~15:00	ポルトガル語
		9:00~17:00	スペイン語
	清水	13:00~16:00	中国語
金	清水	8:30~12:00	ポルトガル語

英語は本部・支部ともに随時、スペイン語は本部のみ随時受け付けています。都合により勤務日が変わる場合がございます。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

静岡市外国人住民数

平成30年1月末現在

国	籍	計	前々月比	国	籍	計	前々月比
1	中国	2,104	6	18	パキスタン	47	-2
2	フィリピン	1,290	-9	19	ロシア	32	0
3	韓国	1,276	2	20	カナダ	30	-1
4	ベトナム	886	26	20	フランス	30	1
5	ブラジル	562	-14	22	マレーシア	25	1
5	ネパール	562	6	23	オーストラリア	22	-1
7	ミャンマー	420	1	24	モンゴル	20	2
8	インドネシア	387	16	25	ボリビア	18	0
9	米国	184	1	26	ドイツ	17	0
9	朝鮮	181	-2		その他	209	11
11	スリランカ	167	1		静岡市の外国人住民総数	9,097	57
12	タイ	166	2		静岡市の人口に占める外国人住民の割合		1.29%
13	台湾	137	6		全国の外国人登録者数(平成29年6月末現在)	3,002,121	
14	ペルー	118	0		全国の人口に占める外国人住民の割合		2.37%
15	バングラデシュ	103	0				
16	インド	56	4				
17	英国	48	0				

静岡市国際交流協会(SAME)

Shizuoka City Association for Multicultural Exchange
 E-mail same@samenet.jp
 協会Webサイト..... www.samenet.jp
 動画サイト..... www.youtube.com/user/samewebtv
 Facebook www.facebook.com/welcometoSAME

本部
 〒420-0853
 静岡市葵区追手町4-16
 (旧青葉小学校)
 TEL 054-273-5931
 FAX 054-273-6474
 ※3月23日まで

清水支部
 〒424-8701
 静岡市清水区旭町6-8
 静岡市役所清水庁舎2F
 TEL 054-354-2009
 FAX 054-352-0334

スタッフだより

8年程前から毎年、年に数回京都を訪れている。きっかけは娘がいわゆる“歴女”だからだ。小学生の頃一緒に観た「新選組」をきっかけに日本の武道、芸能、そして文化にも興味を持つようになった。当初は京都の新選組ゆかりの地を訪れるのが目的だった。しかし京都を訪れる度に目にする数々の寺院や仏像、街並みを観て当時住んでいた横浜にはない何か京都独特の雰囲気を感じ取り、魅了されていったのではないと思う。その後は本やインターネットで様々な情報を事前に学習し、娘のプランで毎年京都を訪れるという繰り返し。今流行りの“御朱印帳”も優に3冊を超えた。今や京都は外国人が選ぶ世界人気都市ランキングでも毎年上位に入る人気ぶり。ここ数年は京都を訪れる度に外国人観光客の数が明らかに増加している。それにともない、京都が外国人を受け入れる体制も大きく変化したように思う。2020年に向け、京都だけではなく、これからが日本の魅力を世界に発信する大きなチャンスだろう。(AYU)